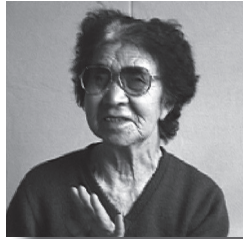


アイヌ民話ライブラリ 2

上田トシの民話 2



アイヌ民族博物館

第2話 散文の物語

ふたりの父

収録日：1995年10月26日

資料番号：35228B

添付CD：3-2（30分41秒）

第2話 散文の物語「二人の父」¹

(ひとりの息子が語る)

アウヌフ アン アオナハ アン ヒネ
 a=unuhu an a=onaha an hine
 (私の)母 いる (私の)父 い て

私は父母と

オカアン ペ ネ イケ
 oka=an pe ne _hike
 暮らす(私) もの だ が

暮らしていました。

タネ ポロアン ペ ネ クス
 tane poro=an pe ne kusu
 もう 大きくなる(私) もの だ から

もう私は大きくなったので

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ… ノ
 nep ka a=esirkirap ka somo ki no... no
 何 も (私)苦勞し も しない で

何を苦勞することもなく

- 5 ヤイカタ ネプキアン コロ アナン ペ ネ ヒケ
 yaykata nepki=an kor an=an pe ne hike
 自分で 働く(私) ながら いる(私) もの だ が

自分で働いていました。

オラ マク ネ ワ ネ ヤ アウヌフ チシ コロ
 ora mak ne wa ne ya a=unuhu cis kor
 こんど どう し て だ か (私の)母 泣い て

そしてなぜか母は泣いて

パテク アン。²
 patek an.
 ばかり いる

ばかり。

ネプ カラ ヤツカ チシ コロ アン。
 nep kar yakka cis kor an.
 何 し ても 泣い て いる

何をしても泣いていました。

イペ ウトウツ タ ネ ヤツカ
 ipe utur_ ta ne yakka
 食事 の間 に で も

食事の間も

- 10 チシ コロ アン イケ カ
 cis kor an _hike ka
 泣い て いる のに

泣いているのですが

アコウウェペケンヌ カ
 a=kouwepekennu ka
 (私)尋ね も

私はそれについて尋ねたことも

ソモ キ ノ オカアン。
 somo ki no oka=an.
 しない で いる(私)

ありませんでした。

1 1995年10月26日、鍋沢キリ氏宅にて収録。調査者は安田千夏、同席者は鍋沢キリ、大谷洋一の両氏。この話をどこで誰から聞いたかについて上田トシ氏は何も語っていないが、よく似た話がC230UT_35299Aにある。それについては「姉(木村キミ氏)から聞いた」と語っている。

2 物語の冒頭でよく見られる表現。主人公を育てた人物が泣いてばかりいるというのは過去に何か不幸な事件があったということを示唆しているが、主人公はまだ小さいので事情は知らされないでいる。物語が進むにつれてその内容が明らかになっていく。

オラ アオナハ アナクネ タネ オンネ…
 ora a=onaha anakne tane onne…
 こんど (私の)父 は もう 年をとる

父はもう年をとって…

エイタサ オンネ カシパ カ ソモ キ コロカ
 eytasa onne kaspaka somoki korka
 あまり 年をとり すぎ も しない けれど

あまり年を取ってもいないけれど

15 ソユン ネプキ アナクネ ソモ キ ノ
 soyun nepki anakne somoki no
 外の 仕事 は しない で

外仕事はせずに

チセ オンナイ タ パテク アン ラポッケ
 cise onnay ta patek an rapokke
 家 の中 に ばかり いる そのうちに

家の中にばかりいました。

ナア ヤイカタ アナクネ ペウレアン ペ ネ クス
 naa yaykata anakne pewre=an pe ne kusu
 まだ 自分 は 若い(私) もの だ から

まだ私は若いので

アリキキアン ワ ユク ネ ヤ カムイ ネ ヤ
 arikiki=an wa yuk ne ya kamuy ne ya
 頑張る(私) して シカ で も クマ で も

頑張ってシカやクマを

アエラ… ルラ^β プ ネ クス
 a=era... rura p ne kusu
 (私) とって来る もの だ から

とって来るので

20 ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
 nep a=esirkirap kasomokin
 何 (私)苦勞する も しない で

何を苦勞することもなく

オカアン ペ ネ コロカ オラ
 oka=an pe ne korka ora
 暮らす(私) もの だ けれど こんど

暮らしていたのですが

アウヌフ マク ネ ワ ネ ヤ チシ コロ パテク アン。
 a=unhumak ne wane ya cis kor patek an.
 (私の)母 どう して だ か 泣い て ばかり いる

母はなぜか泣いてばかりいました。

ソイ タ ソイエネ ヤツカ チシ コロ アン。
 soy ta soyene yakka cis kor an.
 外 に 出て も 泣い て いる

外に出ても泣いていて

アフン コロ ナン カ ピリパ コロ アフン。
 ahun kor nan ka pirpa kor ahun.
 家に入る と 顔 も 拭き ながら 家に入る

家に入ると顔をぬぐって入って来ました。

25 イペ クニネ コロ
 ipe kunine kor
 食事するように と

食事をして

3 エアウナルラ eawnarura と言おうとしたのだろう。e-awna-rura (を・家の中・に運ぶ)で「(獲物)をとって来る」。

オラノ ポヘネ ヤイヌペコアツテ コロ
 orano pohene yainupekoatte kor
 それから なおさら ひとりで涙を流し ながら

ひとりで泣きながら

イペ コロ アン シリ アヌカラ ヒケ カ
 ipe kor an siri a=nukar hike ka
 食事し て いる 様子 (私)見て も

食事をしているのを見ていました

マク ネ ワ エネ アウヌフ
 mak ne wa ene a=unuhu
 どう し て そのように (私の)母

どうして母さんが

チシ コロ パテク アン ヒ ネ ヤ
 cis kor patek an hi ne ya
 泣い て ばかり いる の だ か

泣いてばかりいるのか

30 アコウエペケンヌ カ ソモ キ ノ アナン。
 a=kouwepekennu ka somo ki no an=an.
 (私)尋ねる も しない で 暮らす(私)

尋ねることもせずに暮らしていました。

ラポッケ オラ アコタヌン ウタラ
 rapokke ora a=kotan un utar
 そのうちに こんど (私の)村 の 人たちが

そうしているうちに私の村の人たちが

トノ⁴ コロパ ワ ウイマム⁵ エサンパ⁶ コロ
 tono korpa wa uymam esanpa kor
 和人 を持っ て 交易 に川を下っ て

交易相手の和人のところに交易に行つて

オカ シリ アヌカラ ヒ クス
 oka siri a=nukar hi kusu
 いる 様子 (私)見る ので

いるのを見たので

アヤイコイソイタク コロ
 a=yaykoisoytak kor
 (私)ひとりごとを言い ながら

ひとりごとを言いました。

35 “ネン ネン アウタリ ウイマム エアラパ ワ
 “nen nen a=utari uymam earpa wa
 いろ いろ (私の)仲間 交易 に行っ て

「村人たちが交易に行つて

ウサ オカイ ペ コロ ワ エク ヒ
 usa okay pe kor wa ek hi
 色々 ある もの を持っ て 来る こと

いろいろなものを持って来るのが

アエイコイトウパ” ヒ アイエ コロ
 a=eykoytupa” hi a=ye kor
 (私)うらやましいと思う こと (私)言う と

「うらやましい」と私が言うと

-
- 4 尊称としても使われるが、この場合は和人の交易相手。実際に殿様であるとは限らず「立派な家の主人」くらいの意味でも使われる。
- 5 物語中の交易は、アイヌ側はシカやクマの毛皮などを持って和人の町を訪れる。そして交易相手と酒や穀物、着物や装飾品を交換して帰って来るとされている。
- 6 交易に行くときは海に舟をこぎ出して行くという描写がよく見られるが、この話では海を渡る場面はなく、川筋を行き来したということで終始している。近場の和人の町というイメージなのだろう。

アオナハ エネ ハウエアニ。
a=onaha ene hawean _hi.
(私の)父 このように言った

父はこのように言いました。

“ウイマムエサンアン サニ
“uymam'esan=an sani
交易に行く(私たち) 子孫

「交易に行く血筋でも

40 アネパ カ ソモ キ プ ネ ルウエ ネ ナ。
a=nepa ka somo ki p ne ruwe ne na.
(私たち)で も ない の だ こと だ よ

私たちはないのだよ。

ウイマム アナクネ イテキ ウイマム ヤク ピリカ ナ”
uymam anakne iteki uymam yak pirka na”
交易 は 決して 行かない と いい よ

交易には決して行かないほうがいい」

セコロ イエ コロ パテク アン ペ ネ クス
sekor ye kor patek an pe ne kusu
と 言っ て ばかり いる もの だ から

と言ってばかりいたので

ウイママン カ エラミシカリ ノ
uymam=an ka eramiskari no
交易に行く(私) も したことがなく て

交易に行ったこともなく

アナン ペ ネ コロカ
an=an pe ne korka
いる(私) もの だ けれど

暮らしていました。けれど

45 エイタサ アウタリ ウイマム コロ
eytasa a=utari uymam kor
あまり (私の)仲間 交易に行く と

あまりにも私の村の人が交易に行って

オラノ ウサ サケ ネ チキ アمام ネ チキ
orano usa sake ne ciki amam ne ciki
それから 色々 酒 で も 穀物 で も

酒や穀物や

イミ キンカイ⁷ ネ ヤ
imi kinkay ne ya
着物 着替え など

着物などを

コロ ワ アラキパ⁸ シリ アヌカラ ワ
kor wa arkipa siri a=nukar wa
持っ て 来る 様子 (私)見 て

持って帰って来る様子を見て

エアラキンネ アエイコイトウパ コロ アナン ペ
earkinne a=eykoytupa kor an=an pe
本当に (私)うらやましく思っ て いる(私) もの

本当にうらやましかった

50 ネ ア ヒ クス
ne a hi kusu
だっ た ので

ので

7 「kinkai <邦語 着替えか」[久 416]。

8 アラキ arki は ek 「来る」の複数形なのでさらに複数を示す pa をつける必要はなさそうだが、この他にも用例がある。

シネ アン タ ヌイナカン ワ
sine an ta nuynak=an wa
ある日 隠れる(私) して

ある日隠れて

ウイマム エトコ アオイキ コロ アナン ペ ネ アクス
uymam etoko a=oyki kor an=an pe ne akusu
交易に行く 準備 (私)し て いる(私) もの だったところ

交易に行く準備をして

アウタリ ウイマム エサツパ ヒ クス
a=utari uymam esappa hi kusu
(私の)仲間 交易 に川を下る ので

村人たちが交易に行くのを

アケサンパ ヒネ
a=kesanpa hine
(私)追いかけて

追いかけて

55 ウイママン クス サナン ヒネ
uymam=an kusu san=an hine
交易に行く(私) ために 川を下る(私) して

川を下って行きました。

ネ マチヤ オツ タ アラパアン イケ カ
ne maciya or_ ta arpa=an _hike ka
その 町 の所 に 行く(私) しても

和人の町に行っても

オラ アウタリ アナクネ トノ コロパ プ ネ クス
ora a=utari anakne tono korpa p ne kusu
こんど (私の)仲間 は 殿様 を持つ ものだ から

村の人たちには馴染みの屋敷の主がいるので

トノ オルン ヘノイパ ヘノイパ カネ… コロカ
tono or un henoypa henoypa kane... korka
殿様 の所 に 立ち寄り 立ち寄り ながら けれど

そこに立ち寄っているけれど

ヤイカタ アナクネ トノ カ アサク ペ ネ クス
yaykata anakne tono ka a=sak pe ne kusu
自分 は 殿様 も (私)ない ものだ から

私にはいないので

60 マチヤ⁹ オペサン¹⁰ ルウエ ネ アクス
maciya opes=an ruwe ne akusu
町 に沿って下る(私) こと だったところ

和人の町に沿って下って行ったところ

アシンカロ¹¹ ウタラ イケサンパ ヒネ
asinkaro utar i=kesanpa hine
家来 たち (私)を追いかけて

屋敷の家来たちが私を追いかけて来て

“ オツテナ オツテナ¹²
“ ottena ottena
アイヌの旦那 アイヌの旦那

「アイヌの旦那さん、

9 日本語「町」からの移入語。

10 主人公の村から川を下って行った先にあった和人町なので、到着した地点が町の川上側にあたり、そこから川下に向かって移動したという意味であろう。

11 日本語「足軽」からの移入語。本来の意味のような戦闘行為に関わる人を指しているのではなく、トノ tono の家の使用人という程度の人を指している場合も多い。

12 日本語「乙名」からの移入語。和人がアイヌの首長を呼ぶ際の尊称から派生して、口承文芸では和人がアイヌの男性に対し「旦那さん」というニュアンスでオツテナ ottena という呼びかけをする。

トノサカン ペ ネ ヤ”
tonosak=an pe ne ya”
取引相手がない(私) の ですか

馴染みの取引相手がないのですか」

イコウウェペケンヌ。
i=kouwepekennu.
(私に)尋ねる

と私に尋ねました。

65 トノサカン ペ ネ ヒ アイェ アクス
tonosak=an pe ne hi a=ye akusu
取引相手がない(私) もの だ と (私)言っ たところ

いないと言ったところ

“ヤクン アコロ… カムイ¹³ トノ
“yakun a=kor… kamuy tono
ならば (私)の 立派な 和人の旦那さん

「それならば私たちの屋敷の主が

オツテナ エイコイトウパ コロ アン ルウェ ネ クス
ottena eykoytupa kor an ruwe ne kusu
アイヌの旦那 を欲しがっ て いる こと だ から

取引相手を欲しがっているので

イオツ タ シニ ヤク ピリカ ピリカ”
i=or_ ta sini yak pirka pirka”
(私の)所 で 休め ば いい いい

休んで行ったらいいですよ」

セコロ イェ コロ アシケ イウコエタイェパ ヒネ…
sekor ye kor aske i=ukoetayepa hine…
と 言い ながら 手 (私の)皆で引っ張っ て

と言って私の手をみんなで引っ張る

70 ヒ クス オラ
hi kusu ora
だ から こんど

ので

ネ アシンカロ ウタラ アトウラ カネ ヒネ
ne asinkaro utar a=tura kane hine
その 家来 たち (私)連れ立ち も して

その家来たちと一緒に

アフナン ルウェ ネ アクス
ahun=an ruwe ne akusu
家に入る(私) こと だっ たところ

屋敷に入りました。すると

エアラキンネ ネ イエヤイコブンテクパ コロ
earkinne ne i=eyaykopuntekpa kor
本当に その? (私を)喜び ながら

本当に喜ばれました。

ナニ アウシペ ネ ヤ イサム ワ
nani auspe ne ya isam wa
すぐ (私)履物 だ とか 失っ て

すぐに私の履物はなくなり

75 ウセイ アヌパ ヒネ オラ アケマハ ネ ヤツカ
usey anupa hine ora a=kemaha ne yakka
お湯 を置い て こんど (私の)足 で も

足湯を置いて私の足を

13 カムイ kamuy は「神」という意味以外にも「神に匹敵するくらいに立派な」という最上級の尊称としても使われる。カムイ エカシ kamuy ekasi という「神のように立派なおじいさま」という意味になる。

フライェパ ワ アイコレ
 hurayepa wa a=i=kore
 洗っ て (人が私に)くれる

洗ってくれて

オラ ヤイライケアニ
 ora yayrayke=an _hi
 こんど 感謝する(私) こと

私は感謝の言葉を

アイェ ア アイェ ア コロ
 a=ye a a=ye a kor
 (私)何度も言い ながら

何度も言いました。

ネ カムイ トノ サマ ウン
 ne kamuy tonosama un
 その 立派な 殿様 のそば に

その立派な主のところに

80 イトウラ ヒネ パイエアン ア… ルウエ ネ アクス
 i=tura hine paye=an a... ruwe ne akusu
 (私を)連れ て 行く(私) こと だっ たところ

連れられて行ったところ

エアラキンネ ネ カムイ トノ
 earkinne ne kamuy tonosama
 本当に その 立派な 殿様

本当に立派な主

ピリカ カムイ トノ トノ アン ヒネ
 pirka kamuy tonosama tonosama an hine
 良い 立派な 和人の 殿様 い て

良い旦那さんがいて

イエヤイコプンテク。
 i=eyaykopuntek.
 (私に)喜ぶ

私が来たことを喜びました。

トノサカン ヒ アイェ オラ
 tonosak=an hi a=ye ora
 得意先がない(私) こと (私)言う こんど

馴染みの取引相手がないことを言うと

85 “ヤイカタ カ オツテナサカン ワ
 “yaykata ka ottenasak=an wa
 自分 も アイヌの取引相手がない(私) して

「私もアイヌの旦那さんの取引相手がいなくて

イコイトウパアン コロ アナン ルウエ ネ ア プ
 ikoytupa=an kor an=an ruwe ne a p
 うらやましく思う(私) ながら いる(私) こと だっ た が

うらやましがっていたのです。

エネ ピリカ オツテナ
 ene pirka ottena
 このように 良い アイヌの旦那さん

このように立派なアイヌの旦那さんが

イコシニ ルウエ アン”
 i=kosini ruwe an”
 (私)の所に来た の のだなあ

私のところに来てくれました」

セコロ ハウエアン コロ イエヤイコプンテク コロ
 sekor hawean kor i=eyaykopuntek kor
 と 言い ながら (私を)喜び ながら

と言って喜びました。

- 90 オロ タ アナン オラ
oro ta an=an ora
そこ に いる(私) こんど
そこにいと
- アエ カ エラミシカリ プ
a=e ka eramiskari p
(私)食べ も したことがない もの
食べたこともないもの
- ウサ アエ ピリカ… シサム アエプ アイコサンケ
usa a=e pirka... sisam aep a=i=kosanke
色々 (私)食べる 良い 和人の 食べ物 (人が私に)出す
いろいろな和人の食べ物を
- オッチケ¹⁴ トウラノ キ ワ
otcike turano ki wa
お膳 と一緒に し て
お膳に乗せて出してくれたので
- オラノ ヤイライケアン
orano yayrayke=an
それから 感謝する(私)
感謝をして
- 95 オンカミアナ アナ コロ イペアン。
onkami=an a an a kor ipe=an.
何度も拝礼する(私) ながら 食事する(私)
何度も拝礼をして食事をしました。
- アク カ エラミシカリ
a=ku ka eramiskari
(私)飲み も したことがない
飲んだこともない
- シサム サケ ネ ヤ アエクレ ワ
sisam sake ne ya a=ekure wa
和人の 酒 で も (私)飲ませ て
和人の酒を飲ませてもらい
- イク ネ ヤ イペ ネ ヤ
iku ne ya ipe ne ya
酒を飲む で も 食事 で も
飲んだり食べたり
- ピリカ アキ コロ レウシアン。
pirka a=ki kor rewsian.
良く (私)し ながら 泊る(私)
楽しく過ごして泊まりました。
- 100 オラ イシムネ ネ ヤッカ ネア カムイ トノ
ora isimne ne yakka nea kamuy tonon
そして 翌日 に も その 立派な 殿様
そして翌日もあの立派な旦那さんは
- ナ ネン ネン キムン オルシペ
na nen nen kimun oruspe
まだ いろ いろ 山の 話
まだいろいろと山での話を
- イコウウエペケンヌ コロ アイエ コロ
i=kouwepekennu kor a=ye kor
(私に)尋ね ながら (私)言い ながら
私に尋ねて来るので話をすると

14 日本語「折敷(おしき)」からの移入語とされる。和人文化では飲食をする際にひとり用の食器類を乗せる台として使用する。アイヌ文化においても、神に供物を捧げる際など敬意を払うべき相手に対して使用する。

- エヤイコブンテク コロ
eyaykopuntek kor
喜び ながら
とても喜んでくれて
- アコイソイタケ ウミ ピリカ コロ
a=koysoitak _humi pirka kor
(私)話をする こと 良い ながら
楽しく話をしました。
- 105 トリ カネ
tori kane
逗留 して
逗留して
- トウツコ カ レレコ カ トリ カネ
tutko ka rerko ka tori kane
2日 も 3日 も 逗留 して
2、3日滞在して
- レウシアン ヒネ アナン アイネ
rewsi=an hine an=an ayne
泊る(私) して いる(私) してから
から
- オラ ホシピアン クナク アイエ アクス
ora hosipi=an kunak a=ye akusu
こんど 帰る(私) と (私)言っ たところ
帰りますと言ったところ
- ネ カムイ トノ
ne kamuy tono
その 立派な 殿様
その屋敷の主は
- 110 イコヤイライケ イ イエ ア イエ ア コロ
i=koyayrayke _hi ye a ye a kor
(私)に感謝する こと 何度も言う ながら
私に感謝の言葉を何度も言いました。
- アコロ ワ サナン ペ アツカリ
a=kor wa san=an pe akkari
(私)持っ て 川を下る(私) もの 以上に
持って来たもの以上に
- ウサ サケ ウサ アエブ
usa sake usa aep
色々な 酒 色々な 食べ物
いろいろな酒や食べ物
- ウサ キンカイ ネ ヤ アイコレ
usa kinkay ne ya a=i=kore
色々な 着替え で も (人が私に)くれる
着物を私にくれて
- アコツ チブ オルン
a=kor_cip or un
(私)の 舟 の所 に
私の舟に
- 115 アシンカロ ウタン ルラパ ワ イコレ ワ
asinkaro utar_ rurapa wa i=kore wa
家来 たち 運ん で (私)にくれ て
家来たちが運んでくれました。
- ヤイライケアン ヒ アイエ ア アイエ ア コロ オラ
yayrayke=an hi a=ye a a=ye a kor ora
感謝をする(私) こと (私)何度も言い ながら こんど
本当に感謝しますと何度も言って

“カンナ スイ ノ
 “kanna suy no
 何度も

「また

イコシネウエ ヤク ピリカ ピリカ”
 i=kosinewe yak pirka pirka”
 (私に)訪ねる と いい いい

私のところに遊びに来てください」

セコロ ネ カムイ トノ ハウエアン ヒ
 sekor ne kamuy tono hawean hi
 と その 旦那さま 言う こと

とその立派な旦那さんが言うので

120 オラ カンナ カンナ スイ サナン クニ
 ora kanna kanna suy san=an kuni
 そして また何度も 来る(私) と

また来ますと

アイエ ア アイエ ア コロ オラ ホシピアン ヒネ
 a=ye a a=ye a kor ora hosipi=an hine
 (私)何度も言い ながら こんど 帰る(私) して

私は何度も言って帰って行きました。

オラノ アコロ ペツ トウラシ
 orano a=kor pet turasi
 それから (私)の 川 をさかのぼって

私の村に続く川をさかのぼって

ラリウアン ヒネ ヘメスアン アイネ… アクス
 rariw=an hine hemesu=an ayne... akusu
 舟をこぐ(私) して 上る(私) うちに したところ

舟をこいで行くと

タネ シンキアン カ キ ラポッケ
 tane sinki=an ka ki rapokke
 もう 疲れる(私) も する その間

もう疲れてしまった頃に

125 ナイ ピリカ ナイ サン コロ アン。
 nay pirka nay san kor an.
 川 きれいな 川 出 て いる

川が、きれいな川が注ぎ込んでいました。

ネ ナイ オプツ ネ ヤツカ
 ne nay oput ne yakka
 その 川 の河口 で も

その川の河口も

ピリカ ナイ オプツ アン ルウエ ネ ヒ クス
 pirka nay oput an ruwe ne hi kusu
 きれいな 川 の河口 ある こと な ので

きれいな川の河口があったので

オロ タ シニアン クナク アラム ヒ クス
 oro ta sini=an kunak a=ramu hi kusu
 そこ で 休む(私) しようと (私)思う ので

そこで休もうと思いました。

アコツ チピ アシリコテ ヒネ
 a=kor_ cipi a=sirkote hine
 (私)の 舟 (私)つない で

私の舟をつないで

130 オラ エイタサ ネ ナイ ル オロ ピリカ ルウエ
 ora eytasa ne nay ru or pirka ruwe
 そして あまり その 川 筋 が きれいなこと

あまりにもその川筋がきれいなことに

- アコヨイセ ヒ クス⁽¹⁵⁾
a=koyoyse hi kusu
(私)心引かれる ので
心引かれたので
- オラ シネ タラ⁽¹⁶⁾ シネ サケ ポン オンタロ⁽¹⁷⁾
ora sine tara sine sake pon ontaro
そして 俵 一 酒 小さい 樽
ひとつの俵、ひとつの酒樽を
- アシ… タプコモモ⁽¹⁸⁾ カネ ヒネ
a=si... tapkomomo kane hine
(私)自分の肩に担ぎ も して
肩に担いで
- オラ ネ ポン ナイ
ora ne pon nay
こんど その 小さい 川
その小さい川
- 135 ナイ ル オロ ピリカ ルウェ アコヨイセ イ クス
nay ru or pirka ruwe a=koyoyse hi kusu
川 筋 の所 美しい こと (私)心引かれる ので
に心引かれたので
- ネ ナイ トウラシ アラパアン ルウェ ネ アクス
ne nay turasi arpa=an ruwe ne akusu
その 川 を遡って 行く(私) こと だっ たところ
さかのぼって行きました。すると
- ルイ ノ アラパアン ルウェ ネ アクス
ruy no arpa=an ruwe ne akusu
ずっと 行く(私) こと だっ たところ
だいぶ行ったところで
- フシコノ ニ トウイパ オカ アン ヒ アナクネ
huskono ni tuypa oka an hi anakne
とても古い 木 を切る 跡 ある ことは
昔に木を切った跡があるのは
- ネイ タ カ… イネ ヘンパク パ カ オカ⁽¹⁹⁾ タ
ney ta ka... ine henpak pa ka oka ta
いつ か 何年 も の後 に
何年も前に
- 140 アイヌ アプカシ アイヌ オカ ア… アン ワクス
aynu apkas aynu oka a... an wakusu
人 歩く 人 い た いる ので
人間が来たので
- ニ トウイパ オカ アン ルウェ ネ ヤ…
ni tuypa oka an ruwe ne ya...
木 を切る 跡 ある の だ か
木を切った跡がある
- ネ クニ アラム コロ
ne kuni a=ramu kor
だ と (私)思い ながら
のだろうかと思いました。

15 物語中で人がどこか特定の場所へ心引かれて行ってみたくなるというときは、何かの神に導かれて行動していることがある。

16 日本語「俵」からの移入語。

17 日本語「大樽」からの移入語とされる。

18 タプカコモモ tapkakomomo 「～を肩に担ぐ」[田]。肩から前後に垂らして荷をかつぐことを言う。

19 文脈からするとここはオカ oka 「(時間的な)の後」ではなくエトケ etok 「(時間的な)の前」と言おうとしたのではないか。

オラ ナニ ナニ
ora nani nani
そして すぐ すぐ

そしてすぐに

ナイトウラシアン ルウエ ネ アクス
nayturasi=an ruwe ne akusu
川をさかのぼる(私) こと だっ たところ

川をさかのぼって行ったところ

145 ポン… ネ ナイ オツ タ
pon... ne nay or_ ta
小さい その 川 の所 に

その川に

ポン アイヌ ルウエヘ アン。
pon aynu ruwehe an.
小さい 人 の足跡 ある

子供の足跡がありました。

アオヤモクテ ソンノ アイヌ オカ ヤクン
a=oyamokte sonno aynu oka yakun
(私)不思議に思う 本当に 人 暮らす ならば

私は不思議に思って、本当に人が暮らしている

オカ ルウエ ネ アン ヒ アエラム…
oka ruwe ne an hi a=eramu…
暮らす 跡 に なる こと (私)思う

その跡なのだろうと思いました。

オラ チェツポコイキ オカ アン ポン…ポイ ソン
ora ceppokoyki oka an pon... pon_ son
そして 魚をとる 跡 ある 小さい 小さい 子

魚をとっている小さい子の

150 ルウエヘ アン ヒ… ルウエ ネ ヤ
ruwehe an hi... ruwe ne ya
の足跡 ある こと の なの か

跡があるのかと

アオヤモクテ コロ
a=oyamokte kor
(私)不思議に思い ながら

不思議に思いつつ

ナニ ナニ ナイ トウラシ アラパアン ヒ
nani nani nay turasi arpa=an hi
すぐさま 川 を遡って 行く(私) こと

すぐに川をさかのぼって行きました。

オラ オヤクオヤク タ チェプ コイキ …
ora oyak'oyak ta cep koyki …
こんど あちこち に 魚 をとる

ところどころに

ポン チェプ コイキ オカ アン ヒ
pon cep koyki oka an hi
小さい 魚 をとる 跡 ある こと

小さい魚をとった跡があり

155 オラ ナイトウラシアン イネ
ora nayturasi=an _hine
こんど 川をさかのぼる(私) して

進んで行って

シエトクン インカラン ルウエ ネ アクス
sietok un inkar=an ruwe ne akusu
自分の前方 を 見る(私) こと だっ たところ

前方を見たところ

- エホラク チセ チセ ヘ
ehorak cise cise he
傾く 家 家 なのか
傾いた家、家なのか
- ヘマンタ エホラク チセ アン シリ
hemanta ehorak cise an siri
なんとまあ 傾く 家 ある 様子
傾いた家がある様子が
- シエトクン アヌカラ ヒケ
sietok un a=nukar hike
自分の前方 に (私)見る が
行く手に見ました。
- 160 オラ ネ ポン チセ ソイ タ
ora ne pon cise soy ta
こんど その 小さい 家 の外 に
そしてその小さい家の外に
- マツカチ ヘ ヘカチ ヘ ネ ヤ
matkaci he hekaci he ne ya
女の子 か 男の子 か で も
女の子か男の子かも
- アエランペウテク ノ アン
a=erampewtek no an
(私)わからない で いる
わからない子
- オトピ タンネ オトピ コロ カネ ネ… アン シリ
otopi tanne otopi kor kane ne... an siri
髪 長い 髪 を持って その いる 様子
長い髪をしている様子が
- シエトク ウン アヌカラ。
sietok un a=nukar.
自分の前方 に (私)見る
前方に見えました。
- 165 アラパアン シリ… アン… ヒ クス
arpa=an siri... an... hi kusu
行く(私) 様子 ある ので
私が行こうとすると
- ナニ ネア エホラク チセ オルン アフン シリ
nani nea ehorak cise or un ahun siri
すぐ あの 傾いた 家 の中 に 入る 様子
すぐにあの傾いた家の中に入るのを
- シエトクン アヌカラ コロ アラパアン ヒネ
sietok un a=nukar kor arpa=an hine
自分の前方 に (私)見 ながら 行く(私) して
見つつ進んで行きました。
- オラ ネ チセ ソイ タ
ora ne cise soy ta
こんど その 家 の外 に
そしてその家の外へ行き
- チセヘ エホラク チセ ネ プ ネ クス
cisehe ehorak cise ne p ne kusu
その家 傾いた 家 な の だ から
崩れかかった家に
- 170 エウン アフナン ヒネ インカラン。
eun ahun=an hine inkar=an.
そこに 入る(私) して みる(私)
入ってみました。

ネプ カ イサム。
nep ka isam.
何 も ない

何もありません。

ソレクス²⁰ ネ イエトケ アン ワ アフン ア
sorekusu ne i=etok an wa ahun a
それこそ その(私の)前方に い て 入っ た

それこそ、あの私の前に入って行った

マツカチ ヘカチ ヘ カ オアリサム。
matkaci hekaci he ka oar isam.
女の子 男の子 か も 全く いない

子供の姿もありませんでした。

オラ ピリカノ インカラン ルウエ ネ アクス
ora pirkano inkar=an ruwe ne akusu
こんど よく 見る(私) こと だっ たところ

そしてよく見ると

175 ネプ カ ホツケ ヘネ キ ワ アン ルウエ ネ ノイネ
nep ka hotke hene ki wa an ruwe ne noyne
何 か 寝 ても し て いる の だ ろうか

何かが寝てでもいるようです。

ソウスツ ヘ
sowsut he
(家)の隅 か

家の隅にか

エホラク チセ ソウスツ タ
ehorak cise sowsut ta
傾いた 家 の隅 に

傾いた家の隅に

ネン カ ホツケ ワ アン ルウエ ネ ノイネ
nen ka hotke wa an ruwe ne noyne
誰か 寝 て いる こと だ ような

誰かが寝ているような

アン シリ イキ ヒ クス… コロカ
an siri iki hi kusu... korka
いる 様子 する ので けれど

様子ですが

180 オラ ネプ カ ソモ アイエ ノ オラ
ora nep ka somo a=ye no ora
そして 何 も (私)言わず に こんど

何も言わずにいました。そして

“ヤヤプカシテ アイヌ アネ ヒネ
“yayapkaste aynu a=ne hine
自分を歩かせる 人 (私)であって

「私が自分から進んで

アプカサン ルウエ ネ ワ
apkas=an ruwe ne wa
歩く(私) こと であって

やって来たのは

ネプ カ ウエン コロ オラ…
nep ka wen kor ora…
何も 悪いを持つ そして

20 日本語「それこそ」からの移入語とされる。後に来ることがらを強調したいとき、また「さて」のように話が変わるときなどの語としても使われる。この語を多用する話者もいる。

- ネプ カ ウェン プリ アコロワ
nep ka wen puri a=kor wa
何 か 悪い ふるまい (私)持っ て
- 何か悪いことをしに
- 185 アプカサン シリ カ ソモ ネ…²¹ ネ ア プ
apkas=an siri ka somo ne... ne a p
歩く(私) 様子 も しない だっ た が
- 来たのではありません。
- エネ マッカチ ヘカチ ヘ アン ルウエ
ene matkaci hekaci he an ruwe
このように 女の子 男の子 か ある こと
- このように子供がいるのを
- シエトクン アヌカラ ア プ
sietok un a=nukar a p
自分の前方 に (私)見 た が
- 見たのですが
- ヒナクン オシマ ルウエ ネ ヤ
hinak un osma ruwe ne ya
どこ に に入る こと だ か
- どこに行ってしまったのか
- アエラミシカリ コロカ
a=eramiskari korka
(私)わからない けれど
- わからなかったのです。
- 190 ネプ カ ウエイ サンペ ウェン ケウトウム アコロワ
nep ka wen_ sampe wen kewtum a=kor wa
何 か 悪い 心 悪い 気持ち (私)持っ て
- 何か悪い心を持って
- エカン シリ カ ソモ ネ ナ”
ek=an siri ka somo ne na”
来る(私) 様子 も しない です よ
- 来たのではないのですよ」
- セコロ ヤイコイタクアン コロ
sekor yaykoitak=an kor
と ひとりごとを言う(私) ながら
- とひとり言を言いました。
- オラ ネ アエ クニ プ カ
ora ne a=e kuni p ka
こんど その (私)食べる べき もの も
- 食べるものも
- アエランペウテク ノ オカ ルウエ ネ イ クス
a=erampewtek no oka ruwe ne _hi kusu
(人)わからない で 暮らす こと な ので
- なく暮らしているらしく
- 195 オラ インカラン ス アナクネ アニ クス
ora inkar=an su anakne an _hi kusu
そして 見る(私) 鍋 は ある ので
- 見ると鍋があったので
- ネ ス アコロワ ソイエネ イネ
ne su a=kor wa soyene _hine
その 鍋 (私)持っ て 外に出 て
- その鍋を持って外に出て

21 相手が神であれ人であれ、様子がわからないときはこちらに敵意がないことをまず知らせるのは大事なことである。このフレーズは祈り言葉の冒頭にもよく使われる。

アフライェ カ キ ヒネ
a=huraye ka ki hine
(私)洗い も し て

洗いました。

オラ アマム アセ²² ワ アナン ペ ネ クス
ora amam a=se wa an=an pe ne kusu
そして 穀物 (私)持っ て いる(私) ものだ から

穀物を背負って来ているので

ネ アマム アスパ ヒネ オラ
ne amam a=supa hine ora
その 穀物 (私)煮 て こんど

その穀物を料理しました。

200 アスパ オカ アニ クス オラ スイ
a=supa oka an_hi kusu ora suy
(私)煮る が終わる ので こんど また

料理ができたので、また

“ネプ カ ウエン プリ アコロ ワ
“nep ka wen puri a=kor wa
何 も 悪い ふるまい (私)持っ て

「何も悪いことをしに

アプカサン ヒ カ ソモ ネ クス
apkas=an hi ka somo ne kusu
歩く(私) こと も ない ので

来たのではないので

ネン カ アイヌ アン ヒ ネ ヤクン
nen ka aynu an hi ne yakun
誰 か 人 いる の だっ たら

誰か人間がいるのなら

ホプニ ワ イヌカレ。
hopuni wa i=nukare.
起き て (私)に 見せる

起きて姿を見せてください。

205 スケアン²³ カ キ イ クス
suke=an ka ki_hi kusu
料理する(私) も する ので

料理もしたので

ヘカチ ヘ マツカチ ヘ アン
hekaci he matkaci he an
男の子 か 女の子 か いる

子供の

シリキ ヒ カ アヌカラ ア プ
sirki hi ka a=nukar a p
姿がある こと も (私)見 た が

姿も見たので

ネ ヘカチ ヘネ マツカチ ヘネ ネ ヤッカ
ne hekaci hene matkaci hene ne yakka
その 男の子 だか 女の子 だか で も

その子も

ホプニ ワ イペ ヤク ピリカ。
hopuni wa ipe yak pirka.
起き て 食事する と いい

起きて食事したらいいですよ。

22 seは「～を背負う」という以外に普通に「～を持つ」という意味でも使われる。この場合は「～を肩に担ぐ」と前のくんだり
で表現されていたので、その動作もseに含まれるということになる。

23 「煮炊きをする」から発展して「食事の準備をする」という意味になる。

- 210 スケアン カ アキ… クス ネ ナ。
 suke=an ka a=ki... kusu ne na.
 料理する(私) も (私)し ます よ
 そのつもりで料理をしたのですよ。
- スケアン カ アエプ アナクネ アコロ ペ ネ ナ"
 suke=an ka aep anakne a=kor pe ne na"
 料理する(私) も 食べ物 は (私)持つ もの だ よ
 食べ物も持って来たのですよ
- セコロ イタカン ルウェ ネ アクス
 sekor itak=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ
 と言ったところ
- ネア ホツケ アイヌ ヘ ネプ ネ ヤ
 nea hotke aynu he nep ne ya
 その 寝ている 人 か 何 か も
 その寝ていた人間なのか何かのか
- アエランペウテク ノ ホツケ ワ アン ルウェ
 a=erampewtek no hotke wa an ruwe
 (私)わからない で 寝 て いる こと
 わからない、寝ていたものが
- 215 イキア プ ヘタンプタンプ ヒネ
 ikia p hetamputampu hine
 その 者 頭を上げ上げし て
 頭を上げて
- レイエレイエ ヒネ サン… ホプニ ワ
 reyereye hine san... hopuni wa
 這っ て 出る 起き て
 這って来て…起きて
- アペヘコテ シツテムライパ コロ サン シリ アヌカラ
 apehekote sittemraypa kor san siri a=nukar
 火の方へ 手さぐり ながら出る 様子 (私)見る
 いろいろの前に這って出て来た様子を見ると
- ソンノ アイヌ ヘ… アイヌ セコロ アイエ ヤッカ
 sonno aynu he... aynu sekor a=ye yakka
 本当に 人 か 人 と (私)言っ ても
 本当に人間なのか
- マク アイエ ヤク ピリカ ヤ カ アランペウテク ノ
 mak a=ye yak pirka ya ka a=rampewtek no
 どう (私)言っ と いい か も (私)わからない で
 何と言っていいかわからない
- 220 オトピヒ リ ワ
 otopihi ri wa
 その髪 伸び て
 髪が伸びて
- ナヌフ アナク… ネ ヤッカ レキヒ リヤリヤ
 nanuhu anak... ne yakka rekihi riyariya
 その顔 は で も そのひげ 何年もたつ
 顔でも、ひげも髪も何年も伸び放題
- オトピ ネ ヤッカ リヤリヤ オラ シクセイ²⁴ カ サク。
 otopi ne yakka riyariya ora siksey ka sak.
 その髪 で も 何年もたつ こんど 目の玉 も ない
 さらには目の玉がありませんでした。

24 上田トシ氏はここではシクセイ siksey で「目の玉」の意味だとしているが、C230UT_35299A の類話ではシクヌム カ サク ヘル シクセイ タクプ ネ siknum ka sak heru siksey takup ne 「目の玉がない、ただ目の穴だけがある」と言っているので、本来は「目の穴」という意味であったかも知れない。この話では以後シクヌミ siknumi とシクセイ siksey が同じ意味のように語られている。ちなみに静内地方の話者は「ユカラ yukar の中に出て来るシクセイ siksey は目の穴のことだろう」と語っている。

アイヌ ヘ ウエンカムイ ヘ ネ ヤ
aynu he wenkamuy he ne ya
人間 か 悪神 か だ か

人間なのか魔物なのか

アエランペウテック ノ アン ペ
a=erampewtek no an pe
(私)わからない で いる もの

わからないものが

225 レイエレイエ ヒネ シツテムライパ コロ
reyereye hine sitemraypa kor
這いずつ て 手でさぐり ながら

這って手さぐりで

アペサム タ サン ルウエ ネ ヒネ
apesam ta san ruwe ne hine
火のそば に 出る こと であって

いろりのそばに出て来ました。

エアラキンネ アケムヌ ネ ヤ キ アクス
earkinne a=kemnu ne ya ki akusu
本当に (私)哀れむ で も し たところ

本当に気の毒に思っていると

オシ ネ… シエトクン アヌカラ
os ne... sietok un a=nukar
その後 その 自分の前方 に (私)見た

後ろからあの前方に見た

マツカチ ネ ヤクン マツカチ ネ ノイネ アン ペ
matkaci ne yakun matkaci ne noyne an pe
女の子 だっ たら 女の子 の ように いる もの

女の子らしい子供が

230 ネ レイエレイエ コロ サン クル オシ
ne reyerere kor san kur os
その 這いずる ながら 出る 人 の後

這って出て来た人の後から

ウトウラ ヒネ アペサム タ サツパ ルウエ
utura hine apesam ta sappa ruwe
連れだっ て 火のそば に 出る こと

一緒に火のそばに来たので

エアラキンネ アケムヌ ア アケムヌ ア
earkinne a=kemnu a a=kemnu a
本当に (私)かわいそう で (私)かわいそう で

本当に気の毒でならず

オラ アコウウエペケンヌ。
ora a=kouwepekennu.
こんど (私)尋ねた

私は尋ねました。

“オリパカン コロ ネ コロカ
“ oripak=an kor ne korka
遠慮をする(私) ながら だ けれど

「失礼ですが

235 マク ネ ワ エネ キム タ オカ ルウエ ネ ヤ。
mak ne wa ene kim ta oka ruwe ne ya.
どう し て こう 山 で 暮らす の ですか

どうしてこのような山の中にいるのですか。

ネプ カ ウエイ サンペ アコロ ワ
nep ka wen_ sampe a=kor wa
何 も 悪い 心 (私)持つ て

私は何か悪い心を持って

エカン ルウエ カ ソモ ネ。
ek=an ruwe ka somo ne.
来る(私) こと も ない

来たのではありません。

タップ ネ カネ オキムネ… ウイマムエサンアン ヒネ
tap ne kane okimne... uymam'esan=an hine
このように 山に 交易に行く(私) して

このようなわけで交易に川を下って来て

オラ ペツ トウラシ ラリウア ヒネ エカン ア プ
ora pet turasi rariw=an hine ek=an a p
そして 川 をさかのぼる 舟をこぐ(私) して 来た(私) したが

川をさかのぼって舟を漕いで来たのですが

240 エイタサ ナイ ピリカ ナイ ル オロ ピリカ ルウエ
eytasa nay pirka nay ru or pirka ruwe
あまりにも 川 美しい 川 筋 の所 美しい こと

あまりにも川筋がきれいであることに

アオクンヌレ ヒ クス
a=okunnure hi kusu
(私)感心する ので

感心したので

ナイ トウラシ エカン ア プ
nay turasi ek=an a p
川 を遡って 来る(私) したが

川をさかのぼって来たのです。

エネ フシコノ ニ トウイパ ルウエヘ アン ヒ クス
ene huskononi tuypa ruwehe an hi kusu
こう とても古い 木 を切る の跡 ある ので

このように昔木を切った跡があったので

アイヌ アン ヤクン
aynu an yakun
人 いる ならば

人が

245 アイヌ アン クニ アラム ノ
aynu an kuni a=ramu no
人 いる と (私)思っ て

いるように思い

ニ トウイパ ルウエ カ アン。
ni tuypa ruwe ka an.
木 を切る 跡 も ある

木を伐った跡もありました。

オラ ナニ ナニ ナイトウラシアン ルウエ ネ アクス
ora nani nani nayturasi=an ruwe ne akusu
そして すぐ すぐ 川をさかのぼる(私) こと だったところ

そしてすぐに川をさかのぼって来たところ

ポイ ソン ルウエヘ アン イネ
pon_ son ruwehe an _hine
小さい 子 の足跡 あっ て

小さい子の足跡があって

オラ チェツポコイキ オカ カ アン ヒ クス
ora ceppokoyki oka ka an hi kusu
こんど 魚をとる 跡 も ある ので

魚を捕った跡もあったので

250 イオヤモクテアン クス エカン ルウエ ネ ア プ
ioyamokte=an kusu ek=an ruwe ne a p
不思議に思う(私) ので 来た(私) こと だった が

不思議に思って来たのでした。

ナイトウラシアン ア プ
 nayturasi=an a p
 川をさかのぼる(私) したが

川をさかのぼって来たら

イエトク タ アン シリ イキ… イヌカラ アクス
 i=etok ta an siri iki... i=nukar akusu
 (私の)の前方 に ある 様子 する (私を)見 たところ

私の前に姿が見え

ナニ キラ ワ アフン ア コロカ
 nani kira wa ahun a korka
 すぐ 逃げ て 入っ た けれど

すぐ逃げて家に入ってしまったので

ナニ エカン ルウエ ネ。
 nani ek=an ruwe ne.
 すぐ 来る(私) の です。

私がやって来たのです。

255 ネプ カ ウエイ サンペ アコン ルウエ カ
 nep ka wen_ sampe a=kor_ ruwe ka
 何 も 悪い 心 (私)持つ こと も

私は何か悪い考えを持っている

ソモ ネ クス… ルウエ ネ "
 somo ne kusu... ruwe ne"
 しない ので こと である

のではないのですよ」

セコロ ハウエアナン コロ オツ タ
 sekor hawean=an kor or_ ta
 と 言う(私) ながら そこ で

と言ったところで

“アスパ プ エ ワ イコレ”
 “a=supa p e wa i=kore”
 (私)煮炊きした もの を食べ て (私)にください

「私が料理したものを食べてください」

セコロ ハウエアナン コロ アコイプニ アクス
 sekor hawean=an kor a=koypuni akusu
 と 言う(私) ながら (私)差し出し たところ

と言って差し出すと

260 オラ イペ カ キ。
 ora ipe ka ki.
 こんど 食事 も する

食べました。

ネ オンネクル ヘ アイヌ ヘ
 ne onnekur he aynu he
 その 老人 か 人 か

その老人か人間なのか

ネプ ネ ヤ アエランペウテク ノイネ アン
 nep ne ya a=erampewtek noyne an
 何 だ か (私)わからない よう な

何なのかわからないような

カトウフ アン ペ オラ イペ カ キ。
 katuhu an pe ora ipe ka ki.
 おかしな姿の もの こんど 食事 も する

おかしい姿のものが食事をしました。

アイヌ アナクネ… アイヌ ネ ルウエ アナク
 aynu anakne... aynu ne ruwe an _yak
 人 は 人 である こと ある すれば

人間であることは

- 265 アエラムアン コロカ
a=eramuan korka
(私)理解する けれど
わかりましたが
- ソンノ アシトマ ノ カネ
sonno a=sitoma no kane
本当に (私)恐ろしく て するほど
本当に恐ろしい
- カトウフ アン ヒネ ネ…
katuhu an hine ne…
おかしな姿 ある して その
変わった姿をしていて
- アイペレ… テケヘ… イタンキ カ アニ クス
a=ipere... tekehe... itanki ka an _hi kusu
(私)食べさせる の手 お椀 も ある ので
お椀があるので
- ネ イタンキ オロ アスパ アエプ
ne itanki or a=supa aep
その お椀 に (私)煮炊きした 食べ物
そのお椀に料理したものを
- 270 アコロ イネ テケヘ アコトウッカ アクス
a=kor _hine tekehe a=kotukka akusu
(私)持つ て の手 (私)伸ばし たところ
よそって差し出すと
- イペ カ キ オラ
ipe ka ki ora
食事 も する そして
その人は食べました。
- サケ カ アコロ ペ ネ クス
sake ka a=kor pe ne kusu
酒 も (私)持つ もの だ から
酒も持っていたので
- ネ サケ カ アクレ。
ne sake ka a=kure.
その 酒 も (私)飲ませる
その酒も飲ませました。
- エアラキンネ エヤイコプンテク コロ
earkinne eyaykopuntek kor
本当に 喜び ながら
本当に喜んで
- 275 “シクヌアン ヘ キ ヒネ エネ アン ピリカ アエプ
“siknu=an he ki hine ene an pirka aep
生きる(私) か し て こう いう おいしい 食べ物
「生きているので、このような美味しい食べ物を
- アエ ルウエ アン イク²⁵ ルウエ アン”
a=e ruwe an iku ruwe an”
(私)食べる こと ある 酒を飲む こと ある
食べたり飲めたりするのだ」
- セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言う ながら
と言って

25 ク ku は 2 項動詞で「～を飲む」。飲むものは水でもジュースでも何でもよい。イク iku は 1 項動詞で「酒を飲む」。飲むものは酒に限定される。

チシ コロ チシ エエオヤオヤク コロ
 cis kor cis eeoyaoyak²⁶ kor
 泣き ながら 泣く いろいろ ながら

泣きながらいろいろと

イペ ネ ヤ イク ネ ヤ キ イ クス
 ipe ne ya iku ne ya ki _hi kusu
 食事 で も 飲酒 で も する の だから

食べたり飲んだりしていたので

280 オラ マク ネ ワ エネ オカ ルウエ ネ ヤ
 ora mak ne wa ene oka ruwe ne ya
 こんど どう し て こう 暮らす こと ですか

どうしてこのように暮らしているのか

カンナ ルイノ アコウエペケンヌ ワ
 kanna ruyno a=kouwepekennu wa
 何度も (私)尋ね て

何度も尋ねました。

オリパカン コロカ セコロ ハウエアナン コロ
 oripak=an korka sekor hawean=an kor
 遠慮する(私) けれど と 言う(私) ながら

失礼ですが、と言いつつ

アコウエペケンヌ ルウエ ネ アクス
 a=kouwepekennu ruwe ne akusu
 (私)尋ねる こと だっ たところ

尋ねたところ

エネ ハウエアニ。
 ene hawean _hi.
 このように 言った

このように言いました。

285 “タン アコロ イシカラ エトコ タ
 “tan a=kor iskar etoko ta
 この (私)の 石狩 川の上流 に

「この石狩川の上流に

アユピヒ カ トウラ…カ アン ヒネ
 a=yupihi ka tura... ka an hine
 (私の)兄 も 一緒に も い て

兄と一緒に

ウソイタ オカアン ペ ネ ア プ
 usoyta oka=an pe ne a p
 隣同士で 暮らす(私) もの だっ た が

隣同士で暮らしていました。

エアラキンネ アユピヒ ウエイ サンペ コロ ペ ネ ワ
 earkinne a=yupihi wen_ sampe kor pe ne wa
 本当に (私の)兄 悪い 心 を持つ もの であって

本当に兄は悪い心の持ち主で

オラノ マク ネ ワ ネ ヤ マツコロ エウエン ワ
 orano mak ne wa ne ya matkor ewen wa
 それから どう し て だ か 妻をもらう で悪くなる して

どういうわけか結婚運がなく

290 マチヒ ネ ヤ コレウエン
 macihi ne ya korewen
 妻 で も 粗末にする

妻も悪く

26 オヤクヤク oyakoyak 「あちこち、いろいろ違った所」 [田] と言おうとしたと思うが、音の通りに表記した。

コイペウナラ ワ… コロ アン。
 koipewnara wa... kor an.
 物惜しみし て ながら いる

物惜しみをするのでした。

シネ ポ コロ ペ ネ ア プ
 sine po kor pe ne a p
 ひとり 子供 を持つ もの だった が

子供がひとりいたけれど

ネ ポホ ネ ヤツカ コレウエン ネ ヤ キ。
 ne poho ne yakka korewen ne ya ki.
 その 子供 で も 粗末にする で も する

その子も粗末にして

マツ カネ コロ オラ マチヒ
 mat kane kor ora macihi
 妻 でも 持つと こんど 妻

妻をもらっても

295 キカ キカ アイネ
 kik a kik a ayne
 何度も殴つ た あげく

殴って殴って

オラ ネア マチヒ カ ヤイケシテ ワ ネ ヤ
 ora nea macihi ka yaykeste wa ne ya
 そして その 妻 も 逃げ出し て だ とか

その妻も逃げたり

ヤイライケ ワ イサム ルウエ ネ。
 yayrayke wa isam ruwe ne.
 自殺し て しまう の です

自殺してしまったりしたのです。

オラ シネ ポ アナク
 ora sine po anak
 そして ひとり 子 は

ひとりっ子は

ネア ポホ ネ ヤツカ コレウエン アイネ オラ
 nea poho ne yakka korewen ayne ora
 その の子供 で も 粗末にする あげく そして

その子も運がなくて

300 ネ ポホ カ ライ ワ イサマン ヒ
 ne poho ka ray wa isam=an hi
 その の子供 も 死ん で しまう(人) こと

死んでしまいました。

オラ オカアニ カ イシトマアン イ クス
 ora oka=an _hi ka isitoma=an _hi kusu
 そして 暮らす(私) こと も 恐ろしい(私) ので

私たちは暮らしていても恐ろしいので

オラ テ タ ネ ヒ ヤイケシテアン ヒネ
 ora te ta ne hi yaykeste=an hine
 こんど ここ に である ところ 逃げる(私) して

ここへ逃げて来て

オカアン ルウエ ネ ア プ
 oka=an ruwe ne a p
 暮らす(私) こと だった が

暮らしていたのです。

オラ… コロカ ソモ カ²⁷ イオシ サン ペ ネ クナク
 ora... korka somoka i=os san pe ne kunak けれどまさか私の後から来るとは
 そして けれど まさか (私の)後 来る もの だ と

305 アラム ア プ
 a=ramu a p 思わなかったのですが
 (私)思っ た が

イオシ サン ヒネ
 i=os san hine (兄が) 私を追いかけて来て
 (私の)後 川を下っ て

オラノ アマチヒ コラムコロ²⁸
 orano a=macihi koramkor 私の妻を誘惑したのです。
 それから (私の)妻 を誘惑する

オラ アマチヒ コパン コロ
 ora a=macihi kopan kor 妻が拒んだら
 そして (私の)妻 を拒む と

オラノ キカ キカ アイネ
 orano kik a kik a ayne さんざん殴ったあげくに
 それから 何度も殴っ た あげく

310 オラ トウラ ワ アラパ ワ オラ
 ora tura wa arpa wa ora 連れて行ってしまいました。
 そして 連れる して 行く して こんど

タン アン マツカチ オツカイポ
 tan an matkaci okkaypo この女の子と男の子
 この いる 女の子 男の子

トゥ ポ アコロ カネ ヒネ
 tu po a=kor kane hine ふたりの子を私は持っている
 2 児 (私)持ち も して

テ タ オカアン ルウエ ネ ア プ
 te ta oka=an ruwe ne a p ここで暮らしていたのですが
 ここ に 暮らす(私) こと だった が

オラ アマチヒ キカ キカ アイネ
 ora a=macihi kik a kik a ayne 妻を殴って
 そして (私の)妻 何度も殴っ た あげく

315 オラ ニンパ ニンパ エホロカ ニンパ コロ
 ora ninpa ninpa ehorka ninpa kor 引きずって
 そして 引きずり 引きずり 逆さに 引きずっ て

オラ ネ オツカヨ ポ… アコロ ポイ ソン カ
 ora ne okkayo po... a=kor pon_ son ka 男の子、私の息子も
 そして その 男の子 子 (私の) 小さい 息子 も

27 ソモ カ somo ka 「まさか～するとは思わなかったが」。

28 コラムコロ koramkor 「に相談する」。「頼む」のようなニュアンスでも使う [田]。これ以外にも「ちょっかいをかける」「女を口説く」「女を誘ってみる」[萱] という意味がある。

トゥラ ヒネ アマチヒ トウラ ワ
tura hine a=macihi tura wa
連れ て (私の)妻 を連れ て

連れて、妻も連れて行って

アラパ ワ イサム ワ
arpa wa isam wa
行っ て しまっ て

しまったのです。

オカケ タ オカアン ルウエ ネ ア コロカ
okake ta oka=an ruwe ne a korka
その後 で 暮らす(私) の だっ た けれど

その後暮らしていたのですが

320 アツパケタ アナクネ アマチ イサム コロカ
atpaketa anakne a=maci isam korka
最初 は (私の)妻 いない けれど

初めは妻がいないけれど

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
nep ka a=esirkirap ka somo ki no
何 も (私)苦勞し も しない で

何を苦勞することはありませんでした。

イペ アナクネ ユプテクアンペ ネ クス
ipe anakne yuptek=an pe ne kusu
食事 は 働き者である(私) もの だ から

食事は私が働き者なので

ウサ ユク ネ ヤ カムイ ネ ヤ
usa yuk ne ya kamuy ne ya
色々 シカ で も クマ で も

シカやクマを

アライケ プ ネ クス
a=rayke p ne kusu
(私)とる もの だ から

とって来たので

325 ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
nep ka a=esirkirap ka somo ki no
何 も (私)苦勞し も しない で

何を苦勞することもなく

アコロ ペツ トウラノ オカアン ペ ネ ア プ
a=kor pet turano oka=an pe ne a p
(私の)の 川 と共に 暮らす(私) もの だっ た が

私の川で暮らしていたのでした。

マク ネ ワ ネ ヤ
mak ne wa ne ya
どう し て だ か

どうしたことか

オラノ ネプ カ ウエンカムイ
orano nep ka wenkamuy
こんど 何 か 悪神

兄があれから何か悪神に

イコノンノイタク ワ ネ クニ アラム。
i=kononnoitak wa ne kuni a=ramu.
(私に)祈っ て だ と (私)思う

祈ったのだらうと思います。

330 エクシコンナ シクナカン ワ
ekuskonna siknak=an wa
突然 失明する(私) して

突然目が見えなくなって

オラノ アシクヌミヒ アラカ ネ ヒ²⁹
 orano a=siknumihi arka ne hi
 それから (私の)目の玉 痛む

それから目が痛んで

アシクヌミ ペネ ワ
 a=siknumi pene wa
 (私の)目の玉 腐っ て

目の玉が腐って

オラノ イェ チカ チカ アイネ
 orano ye cika cik a ayne
 それから うみ 何度もした たった あげく

膿がポタポタたれて

オラ アシクヌミ オピッタ ペネ ワ イサン マ
 ora a=siknumi opitta pene wa isam _wa
 そして (私の)目の玉 全部 腐っ てしまっ て

目の玉がみんな腐ってしまいました。

335 オラ オカケ タ エネ ヘル シクセイ タクブ
 ora okake ta ene heru siksey takup
 そして その後 で こうしてただ 目の穴 だけ

その後はただ目の穴だけを

アコロ ワ アナン ルウエ ネ イケ カ
 a=kor wa an=an ruwe ne _hike ka
 (私)持っ て いる(私) の であっ ても

持っ ても

オラ エネ ネ ヒ カ イサム ワ
 ora ene ne hi ka isam wa
 こんど どう する ことも なく て

どうしようもなく

オラノ シツテムライパアン コロ アナン。
 orano sittemraypa=an kor an=an.
 それから 手探りをする(私) ながら 暮らす(私)

手探りで暮らしました。

アエプ アナクネ アツパケ タ アコロ ペ ネ クス
 aep anakne atpake ta a=kor pe ne kusu
 食べ物 も 最初 に (私)持っ 物な ので

食べ物は、初めは持っていたので

340 アコロ オペレ スパ ワ アエ。
 a=kor oper supa wa a=e.
 (私)の 娘 煮炊きして (私)食べる

娘が料理をして食べていました。

イパロイキ コロ オカアン ペ ネ ア プ
 i=paroyki kor oka=an pe ne a p
 (私)に養っ て 暮らす(私) 物な った が

娘が私を養っていたのですが

タネ アコロ アエプ カ イサミ
 tane a=kor aep ka isam _hi
 もう (私)の 食べ物 も ない こと

もう蓄えていた食糧もなくなったので

オロワノ チェツポコイキ ワ ネ ポン チェツポ
 orowano ceppokoyki wa ne pon ceppo
 それから 魚をとっ て その 小さい 小魚

魚をとって、その小さい魚を

29 アラカ ネヒのような音に聞こえる。アラカ イネ arka _hine かアラカ アイネだろうか。不明。

スパ ワ イエレ ネ ヤ キ コロカ
 supa wa i=ere ne ya ki korka
 煮炊きして (私に)食べさせ で も する けれど

料理して私に食べさせたりしていました。

345 シクナカン ペ ネ クス
 siknak=an pe ne kusu
 失明する(私) もの だ から

目が見えないので

イパロ… ワ イエレ
 i=paro... wa i=ere
 (私の)口 して (私に)食べさせる

私に食べさせていました。

オラ アウニヒ カ エネ イコホラク³⁰ ワ
 ora a=unihi ka ene ikohorak wa
 こんど (私の)家 も このように 崩れ落ち て

私の家もこのように崩れ落ちてしまい

エネ アン チセ ヘ
 ene an cise he
 こん な 家 か

このように家だか

ヘマンタ オツ タ オカアン イケ カ
 hemanta or_ ta oka=an _hike ka
 何 の所 に 暮らす(私) しても

何だかわからないところで暮らしながら

350 オラ ヤイヌアン ウミ エネ アニ。
 ora yaynu=an _humi ene an _hi.
 こんど 思う(私) 感じ このようだった

このように考えたのです。

タネ ヤイカタ アナクネ オンネアン ペ ネ クス
 'tane yaykata anakne onne=an pe ne kusu
 もう 自分 は 年を取る(私) もの だ から

『もう自分は年を取ったので

ライアン ヤクン ライアン ヤッカ ピリカ コロカ
 ray=an yakun ray=an yakka pirka korka
 死ぬ(私) ならば 死ぬ(私) しても いい けれど

死んでしまってもいいけれど

オラ ライアン オカ タ
 ora ray=an oka ta
 こんど 死ぬ(私) の後 で

私が死んだ後

マカナク アコロ オペレ イキ プ アン
 makanak a=kor oper iki p an'
 どのように (私の) 娘 する もの だろうか

娘はどうしたらいいのだろう』

355 セコロ ヤイヌアン コロ
 sekor yaynu=an kor
 と 思う(私) ながら

と思いました。

オラノ ネ ワ アン ペ パテク
 orano ne wa an pe patek
 それから 今言ったその こと ばかり

それからそればかりを

30 ホラク horak は一項動詞で「崩れ落ちる」。イコ iko がついても動詞の項数は変わらない。

アエサンペコニタタ³¹ ワ… コロ
 a=esampekonitata wa… kor
 (私)心に抱え ながら

心に抱えて

ケシト アナン ルウエ ネ ヤクン
 kesto an=an ruwe ne yakun
 毎日 暮らす(私)こと である ならば

毎日暮らしていたのですが

ネウン ニシパ ネウン オツカイポ
 neun nispa neun okkaypo
 どんな 旦那 どんな 若者

どんな旦那さん、どんな若者が

360 エネ イコオシコニ ワ
 ene i=koosikoni wa
 このように(私に)追いつい て

このようにやって来て

ピリカ アエプ ピリカ サケ イイペレ イイクレ
 pirka aep pirka sake i=ipere i=ikure
 おいしい 食べ物 おいしい 酒 (私に)食べさせ (私に)飲ませる

おいしい食べ物や酒を食べさせ飲ませてくれた

ヒ ネ ヤ”
 hi ne ya”
 こと です か

のですか」

セコロ ハウエアン コロ チシ コロ ハウエアン。
 sekor hawean kor cis kor hawean.
 と 言い ながら 泣き ながら 言う

と言って泣きながら話をしました。

エアラキンネ アケムヌ ア アケムヌ ア
 earkinne a=kemnu a a=kemnu a
 本当に (私)本当に気の毒で 気の毒で

本当に気の毒で

365 マク ネ ワ オラ エネ カトウフ アニ アン
 mak ne wa ora ene katuhu an _hi an
 どう し て こんど こんな おかしな姿 なるの だろう

一体どうしてこのような姿になったのだろう

セコロ ヤイヌアン
 sekor yaynu=an
 と 思う(私)

と思いました。

カ タ オラ ヤイヌアン フミ エネ アニ。
 ka ta ora yaynu=an humi ene an _hi.
 上 に こんど 思う(私) 感じ このようだった

その上私が思ったのはこのようなことでした。

“ソノン アウヌフ ヘネ ソモ ネ ヤクン
 “sonno a=unuhu hene sono ne yakun
 本当に (私の)母 でも ない ならば

「本当に私の母がそうでないのなら

エネ マク ネ ヒネ
 ene mak ne hine
 一体 どう であって

一体どうして

31 エサンペコニタタ e-sampe-ko-nitata (について・心・に・押さえる)。

370 アウヌフ チシ コロ パテク アン ア プ”
 a=unuhu cis kor patek an a p”
 (私の)母 泣い て ばかり い た が

母は泣いてばかりいるというのだ」

セコロ ヤイヌアン。
 sekor yaynu=an.
 と 思う(私)

と思いました。

“トウラノ アナン アオナハ
 “turano an=an a=onaha
 一緒に いる(私) (私の)父

「一緒に暮らしている父は

ヘマンタ ウエイ サンペ コロ ヘネ キ
 hemanta wen_ sampe kor hene ki
 何か 悪い 心 を持ち でも する

何か悪い心を持っているの

ルウエ ネ ヤ”
 ruwe ne ya”
 の だ か

ではないか」

375 セコロ アサンペ オツ タ ヤイヌ。
 sekor a=sampe or_ ta yaynu.
 と (私の)心 の所 で 思う

と、心の中で思いました。

ソンノ ヤイルシカアン ルウエ ネ コロカ
 sonno yayruska=an ruwe ne korka
 本当に ひとりで腹を立てる(私) の だ けれど

とても腹が立ったけれど

ネプ カ タプネ ネ ヒ カ
 nep ka tapne ne hi ka
 何 も このよう な ことも

何もこのようなことなどは

アイエ カ ソモ キ コロカ
 a=ye ka somo ki korka
 (私)言う も しな い けれど

言わずに

オラ アイペレ アイクレパ ヒネ オラ
 ora a=ipere a=ikurepa hine ora
 そして (私)食べさせ (私)酒を飲ませ て こんど

食事をさせ酒を飲ませました。そして

380 “アホツパ タネ ホシピアン クス ネ コロカ
 “a=hoppa tane hosipi=an kusu ne korka
 (私)置いて 今 帰る(私) つもりだ けれど

「今は置いて家に帰るつもりだけれど

オラ タネ トウツコ レレコ ネ ヤクン
 ora tane tutko rerko ne yakun
 そして もう 2日 3日 したならば

2、3日したら

アフナラパ クス スイ エカン クス ネ ナ。
 a=hunarpa kusu suy ek=an kusu ne na.
 (私)探す ために また 来る(私) つもりだ よ

探しにまた来るつもりです。

- エカン パクノ タン アン ネ マツカチ ウンノ³²
ek=an pakno tan an ne matkaci unno 私が来るまでその女の子に
来る(私) まで この いる あの 娘 に
- SPA ワ 'ネ エカシ ヘ エオナハ ヘ
supa wa 'ne ekasi he e=onaha he 料理をして『このおじいさんかお父さんに
料理し て その おじいさん か (お前の)父 か
- 385 エイペレ コロ アプンノ エチオカ ヤク ピリカ ナ。'
e=ipere kor apunno eci=oka yak pirka na.' 食べさせて穏やかに暮らしていたらいいよ』
(お前)食べさせ ながら 穏やかに (お前達)いれ ば いい よ
- オラ カンナ アエコフナラ クス ネ ナ"
ora kanna a=e=kohunara kusu ne na" そしてまた (私がお前を)探す つもりだ よ
そして また (私がお前を)探す つもりだ よ
- セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor と言って
と 言う(私) ながら
- ソイネ ヒネ オラ タプネ ネ ワ…
soyne hine ora tapne ne wa… 外に出て、このような…
外に出 て こんど こう し て
- ネ ヒ カ ヤイカタ アナクネ
ne hi ka yaykata anakne わけですと私自身は
である こと も 自分 は
- 390 ヤイオペオペアン³³ カ ソモ キ ノ
yay'opeope=an ka somo ki no 名乗ることもせずに
名乗る(私) も しない で
- ソイネアン ヒネ オラ エカン ヒネ
soyne=an hine ora ek=an hine 外に出て帰って来ました。
外に出る(私) して そして 来る(私) して
- アウニ タ シレパアン ヒ オラ
a=uni ta sirepa=an hi ora 私の家に着いて
(私の)家 に 着く(私) こと そして
- アコロ ワ オカイ ペ アウニ タ アルラ カ キ。
a=kor wa okay pe a=uni ta a=rura ka ki. 私の持ち物を私の家に運びました。
(私)持っ て いる もの (私の)家 に (私)運び も する
- ウサ サケ ネ ヤ ウサ キンカイ
usa sake ne ya usa kinkay 酒や着物や
色々な 酒 や 色々な 着替え
- 395 ウサ サケ ネ ヤツカ ネプ ネ ヤツカ
usa sake ne yakka nep ne yakka 酒などを
色々 酒 で も 何 で も

32 セリフの途中だが、ここだけ「あの女の子に」と主人公の説明になっている。

33 ヤヨペヨペ「自己紹介(する)」[萱]。

アウニ タ アルラ ア コロカ
a=uni ta a=rura a korka
(私の)家 に (私)運ん だ けれど

私の家に運んだけれど

タップネ カネ ホシピアン エトク タ
tapne kane hosipi=an etok ta
このように 帰る(私) 前 に

このようなわけで帰る前に

アイヌ ヌカラ アイヌ ヘ ヘマンタ
aynu nukar aynu he hemanta
人 を見る 人 か 何か

人間を見た、人間か何かを

アヌカラ ア ルウエ ネ ヒ カ
a=nukar a ruwe ne hi ka
(私)見 た の だ ことも

見たということも

400 アイエ カ ソモ キ ノ
a=ye ka somo ki no
(私)言い も しな い で

言わずにいました。

アオナハ エウン アイペレ カ アイクレ カ キ ヒ
a=onaha eun a=ipere ka a=ikure ka ki hi
(私の)父 に (私)食べさせ も (私)飲ませ も する こと

父に食べさせたり飲ませたりして

オラ ナ ネン ネン アコイソイタク エンカ タ
ora na nen nen a=koisoytak enka ta
そして まだ いる いる (私)話す 上 で

いろいろな話をしていて

“アオナハ ネプ カ ペウレ ヒ タ
“a=onaha nep ka pewre hi ta
(私の)父 何 か 若い ときに

「父さん、何か若いときに

ネプ カ ヤイケウコロ ヘネ ネプ カ ウエン プリ
nep ka yaykewkor hene nep ka wen puri
何 か 人の道に反する でも 何 か 悪い おこない

人の道に反すること、何か悪いことを

405 ヘネ ソモ コン ルウエ ネ ヤ? ”
hene somo kor_ ruwe ne ya? ”
でも 持たない の ですか

「しませんでしたか」

アコウウエペケンヌ アクス
a=kouwepekennu akusu
(私)尋ね たところ

と尋ねたところ

“ネプ カ ウエン プリ カ アコロ カ ソモ ネ。
“nep ka wen puri ka a=kor ka somo ne.
何 も 悪い おこないも (私)持ち も しな い

「何も悪いことなどしていない。

ウエイ サンペ カ アコロ カ ソモ キ ルウエ ネ ”
wen_ sampe ka a=kor ka somo ki ruwe ne ”
悪い 心 も (私)持ち も しな い の だ

悪い心を持ったりしていないぞ」

セコロ ハウエアン ルウエ ネ コロカ
sekor hawean ruwe ne korka
と 言う の だ けれど

と言うけれど

- 410 “ソンノ ネ ヤ” アコウウエペケンヌ
 “sonno ne ya” a=kouwepekennu
 本当 なの か (私)尋ねる
 「本当なのか」と尋ねて
- “ソンノ ネ ヤ” ヒ イェ コロカ
 “sonno ne ya” hi ye korka
 本当 なの か と 言う けれど
 「本当か」と言い
- ナニ サパウシペ オトピ アテッコノイエ³⁴ コロ
 nani sapauspe otopi a=tekkonoye kor
 すぐ 頭に生えたもの 髪 (私)手でねじりあげ ながら
 すぐに髪の毛をねじりあげて
- “ソンノ ネ ヤ。
 “sonno ne ya.
 本当 なの か
 「本当か。」
- アオナハ ソンノ アオナハ ネプ カ
 a=onaha sonno a=onaha nep ka
 (私の)父 本当に (私の)父 何 も
 父さんは、本当に父さんは何かの
- 415 ウェンカムイ コノンノイタク ソモ キ ヤ”
 wenkamuy kononnoitak somo ki ya”
 悪神 に祈る しない か
 悪神に祈ったりしていないか
- セコロ アイェ アクス オラ エアシリ
 sekor a=ye akusu ora easir
 と (私)言っ たところ こんど 初めて
 と言ったところ、そうして初めて
- “タネ アナクネ
 “tane anakne
 今 は
 「今は
- アコロ ウェン プリ アコロ ウェン カッチャム
 a=kor wen puri a=kor wen katcam
 (私の)の 悪い 行い (私の)の 悪い ふるまい
 私の悪いふるまいを
- アカラクフ イコオシコニ ヒ ネ ヤクン
 a=karkuhu i=koosikoni hi ne yakun
 (私の)おい (私)追及される ことである ならば
 おいっ子にとがめられるのならば
- 420 マク アイェ ハウエ”
 mak a=ye hawe”
 どう (私)言う こと
 何と言おう」
- セコロ ハウエアン コロカ
 sekor hawean korka
 と 言う けれど
 と言ったけれど
- ナニ アトイコキッキク ヒネ
 nani a=toykokikkik hine
 すぐ (私)ひどく殴っ て
 すぐにひどく殴りつけて

34 テッコノイエ tek-ko-noye (手・で・をねじる)。

- エソイネ アトイコキツキク
 esoyne a=toykokikkik
 外で (私)ひどく殴る
 外でひどく殴りつけて
- ラポッケ アライケ ヒネ
 rapokke a=rayke hine
 そのうちに (私)殺し て
 殺してしまいました。
- 425 エソイネ アニンパニンパ ヒネ
 esoyne a=ninpaninpa hine
 外に (私)ひきずっ て
 外にひきずって行って
- アトイコタタ アムンコタタ ルウェ ネ ヒネ
 a=toykotata a=munkotata ruwe ne hine
 (私)土と刻む (私)草と刻む こと であって
 土や草と一緒に刻んでしまいました。
- オラ アウヌフ エウン
 ora a=unuhu eun
 そして (私の)母 に
 そして母に
- “ タプネ ネ フ
 “ tapne ne wa
 このようなわけ なの で
 「このようなわけで
- ナイトウラシアン アクス
 naytulasi=an akusu
 川をさかのぼる(私) したところ
 川をさかのぼって行ったところ
- 430 エネ ソンノ アオナハ ネ ヤ
 ene sonno a=onaha ne ya
 このように 本当の (私の)父 だ か
 本当の父なのか
- アマタキ³⁵ ネ ヤ エラミシカリ コロカ
 a=mataki ne ya eramiskari korka
 (私の)妹 だ か わからない けれど
 妹なのかわからないけれど
- アパ ルウェ ネ ”
 a=pa ruwe ne”
 (私)見つける こと です
 見つけたんだよ」
- セコロ ハウエアナン ルウェ ネ アクス
 sekor hawean=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ
 と言ったところ
- アウヌフ オラノ ポ ヘネ ライパラパラク コロ
 a=unuhu orano po hene rayparaparak kor
 (私の)母 それから なおさら ひどく泣き ながら
 母は激しく泣きました。
- 435 オラ ナニ イシムネ
 ora nani isimne
 そして すぐ 翌日
 そしてすぐに翌日

35 一般的にはマタキ mataki は姉が妹に対して使う言い方。兄から妹に対してはマタパ matapa、トゥレシ turesi と言うが、この話では全てマタキ mataki となっている。トシさんは女性なので、馴染みのある言葉のほうを無意識に使ったものか。

ウサ アミフ ネ ヤ ウサ オカイ ペ コロ ワ
 usa amip ne ya usa okay pe kor wa
 色々 着物 でも 色々 ある もの 持つ て

着物やいろいろなものを持って

オラ ナニ アウヌフ トウラノ サパン ヒネ
 ora nani a=unuhu turano sap=an hine
 こんど すぐ (私の)母 と一緒に 川を下る(私)して

すぐに母と一緒に川を下って行って

ネ ナイ トウラシ パイエアン アクス
 ne nay turasi paye=an akusu
 その川 廻って 行く(私) したところ

あの川に沿って行きました。すると

エネ アン チセ ヘ ヘマンタ オツ タ オカ ルウエ
 ene an cise he hemanta or_ ta oka ruwe
 こんな 家 か 何か の所 に 暮らす こと

あの家で暮らしているのを

440 アウヌフ ヌカラ ワ
 a=unuhu nukar wa
 (私の)母 見 て

母が見て

オラノ ライパラパラク コロ アオシマ ヒネ
 orano rayparaparak kor a=osma hine
 それから ひどく泣き ながら (私)入っ て

激しく泣きながら中に入ると

オラノ ナニ “アコロ オペレ”
 orano nani “a=kor oper”
 それから すぐに (私の)の 娘

すぐに「娘よ」

セコロ ハウエアン ヒ
 sekor hawean hi
 と 言う こと

と言いました。

オラノ ネ マツカチ ヘ ネ ヤ アナクネ
 orano ne matkaci he ne ya anakne
 それから その 女の子 か だ か は

その娘は

445 ウヌフ ネ ヤ ネブ ネ ヤ
 unuhu ne ya nep ne ya
 母 なの か 何 なの か

母なのか何なのか

エラミシカリ プ ネ クス
 eramiskari p ne kusu
 わからない もの だ から

わからないのです。

アウヌフ パラパラク オラ
 a=unuhu paraparak ora
 (私の)母 泣く こんど

母は泣いて

“アホクポ”
 “a=hokupo”
 (私の)旦那さま

「私の旦那様」

セコロ アウヌフ ハウエアン コロ
 sekor a=unuhu hawean kor
 と (私の)母 言い ながら

と言って

- 450 ネ オンネクル ヘ
ne onnekur he
その 老人 か
- シクセイ カ サク クル コテツテレケ コロ
siksey ka sak kur kotetterke kor
目の玉 も ない 人 に 駆け寄り ながら
- パラパラク コロ… ルウエ ネ ヒネ オラ
paraparak kor... ruwe ne hine ora
泣き ながら こと であって こんど
- “ タプネ カネ ネ ワ… ネ ヒ
“ tapne kane ne wa... ne hi
こういうわけ なので であること
- アポホ ウイマム エサン クシケライポ
a=poho uymam esan kuskeraypo
(私の)息子 交易に 下る おかげで
- 455 アホクポ アマツネポホ
a=hokupo a=matnepoho
(私の)夫 (私の)娘
- アポホ パ ルウエ ネ ”
a=poho pa ruwe ne ”
(私の)息子 を見つける の です
- セコロ アウヌフ ハウエアン ペ ネ クス
sekor a=unuhu hawean pe ne kusu
と (私の)母 言う もの だ から
- オラ ネ シクセイ カ サク クル カ
ora ne siksey ka sak kur ka
そして あの 目の玉 も ない 人 も
- パラパラク コロ
paraparak kor
泣き ながら
- 460 “ アポホネ アン ペ エネ アウエンユピヒ
“ a=pohone an pe ene a=wenyupihi
(私の)息子 ある もの こんな (私の)悪い兄
- ウエン カツチャム コロ ワ
wen katcam kor wa
悪い 行い 持つ て
- タネ アマチヒ カ ライ ワ イサム ルウエ ネ
tane a=macihi ka ray wa isam ruwe ne
もう (私の)妻 も 死ん で しまう の だ
- クナク アラム ア プ
kunak a=ramu a p
と (私)思っ た が
- その老人のような
- 目が見えない人のところに駆け寄って
- 泣いていました。
- 「このようなわけで
- 息子が交易に行ったおかげで
- 旦那さんと娘を
- 見つけたのです」
- と母が言ったので
- その盲目の人も
- 激しく泣きながら
- 「息子がこのように、悪い兄が
- 悪いことをして
- もう妻も死んでしまった
- と思っていたのだったが

エネ アカトウ アン ルウエ ネ ヤツカ
ene a=katu an ruwe ne yakka
こんな (私の)無様 な こと で も

このような姿になっても

465 アマチヒ カ タネ イコオシコニ ルウエ アン”
a=macihi ka tane i=koosikoni ruwe an”
(私の)妻 も もう (私を)探す こと だなあ

妻も私のところに来てくれたのだ」

セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言い ながら

と言って

ウコパラパラクパ コロ
ukoparaparakpa kor
互いに泣き ながら

互いに大泣きをしました。

オラ ナニ アウヌフ ウセイ カラ ヒネ
ora nani a=unuhu usey kar hine
こんど すぐ (私の)母 お湯 を沸かして

すぐに母はお湯を沸かして

ナニ ネ マツカチ カ オトピ トウイエ³⁶
nani ne matkaci ka otopi tuye
すぐ その娘 も 髪 を切る

その娘の髪を切って

470 ナヌフ カ メムケ オラ ピリカ アミプ カ
nanuhu ka memke ora pirka amip ka
その顔 も 剃る こんど きれいな 着物 も

顔を拭いて、きれいな着物も

コロ ワ サプ ペ ネ クス
kor wa sap pe ne kusu
持っ て 行く もの だ から

持って行っていたので

ナニ ピリカ アミプ カ ミレ ワ
nani pirka amip ka mire wa
すぐ きれいな 着物 も 着せ て

いい着物も着せると

ネ マツカチ カ エヤイコブンテク。
ne matkaci ka eyaykopuntek.
その娘 も 喜んだ

その娘は喜びました。

オラ ネ シクセイ カ サク アオナハ ネ コロカ
ora ne siksey ka sak a=onaha ne korka
こんど その 目の玉 も ない (私の)父 だ けれど

それから盲目の父だけれど

475 アオナハ カ ナニ オトピヒ カ トウイエ
a=onaha ka nani otopihi ka tuye
(私の)父 も すぐ 髪 も 切る

すぐ髪を切って

ナヌフ カ カラ ピリカノ…
nanuhu ka kar pirkanano…
その顔 も 拭く きれいに

顔も拭いてきれいに…

36 昔の女性は髪をあごのあたりでまっすぐに切りそろえる習慣であった。

ピリカ アミプ セ ワ サン ペ ネ クス
 pirka amip se wa san pe ne kusu
 きれいな 着物 を背負って 川を下る もの だ から

きれいな着物を背負って来ていたので

ピリカ アミプ カ アミレ ワ
 pirka amip ka a=mire wa
 きれいな 着物 も (私)着せ て

それを着せました。

オラノ チシ コロ
 orano cis kor
 それから 泣き ながら

そして泣きながら

480 “アポホ ネ アン ペ エネ… アン クシケライポ
 “a=poho ne an pe ene… an kuskeraypo
 (私の)息子 で ある もの こうして いる おかげで

「息子がいたおかげで

エイコオシコニ
 e=i=koosikoni
 (お前が私を)探す

私を探して

カムイ イコホサリ ワ ”
 kamuy i=kohosari wa”
 神 (私に)振り向く よ

神が助けてくれたのだ」

セコロ ハウエアン コロ エヤイコブンテク コロ
 sekor hawean kor eyaykopuntek kor
 と 言い ながら 喜び ながら

と言って喜んで

ナニ ネア チセ アヌイエオツケ ヒネ
 nani nea cise a=nuyeotke hine
 すぐ その 家 (私)火をつけ て

すぐにその家を燃やしました。

485 オラノ ネ アオナハ ネ アン ペ
 orano ne a=onaha ne an pe
 それから その (私の)父 で ある もの

そしてその父である人の

アウヌフ テケ アニ ヒネ
 a=unuhu teke ani hine
 (私の)母 の手 を持つ て

手を母は取って

ナイ オプツ タ サパン ヒネ
 nay oput ta sap=an hine
 川 河口 に 下る(私) して

川の下流に下って行き

オラ ナニ アチピクサ ヒネ アラキアン ヒネ
 ora nani a=cipikusa hine arki=an hine
 そして すぐ (私)舟で渡し て 来る(私) して

すぐに舟で

アウニ タ ネ イシカラ エトコ タ アラキアン イネ
 a=uni ta ne iskar etoko ta arki=an hine
 (私の)家 に その 石狩 の上流 に 来る(私) して

私の家、石狩川の上流に来ました。

- 490 オラ アウニ タ ネ イユブネ クル³⁷
 ora a=uni ta ne iyupne kur
 そして (私の)家 に その 兄である 人
 ウェンカムイ アナクネ アライケ ワ
 wenkamuy anakne a=rayke wa
 悪いやつ は (私)殺し て
 イサム ペ ネ クス
 isam pe ne kusu
 しまった もの だ から
 オカケ タ オラ アオナハ ソンノ アオナハ
 okake ta ora a=onaha sonno a=onaha
 その後 で こんど (私の)父 本当の (私の)父
 トウラノ オカアン ワ オラノ
 turano oka=an wa orano
 と一緒に 暮らす(私) して こんど
 エネ シリキラツパ パテク イキ ア プ³⁸ セコロ
 ene sirkirappa patek iki a p sekoro
 こんな 苦勞 ばかり し た のに と
 ヤイヌアン ワ
 yaynu=an wa
 思う(私) して
 オラノ アピリカコロ
 orano a=pirkakoro
 それから (私)大切に
 アピリカイペレ アピリカミレ
 a=pirkaipere a=pirkamire
 (私)よく食べさせる (私)よく着せる
 オラノ エアシリ アウヌフ カ
 orano easir a=unuhu ka
 それから 初めて (私の)母 も
 ソモ チシ ノ イペ ネ ヤ
 500 somo cis no ipe ne ya
 泣かず に 食事する で も
 ナ ネン ネン イキ
 na nen nen iki
 まだ いろいろ する
 オラ アコロ オペレ³⁹ ネ ヤツカ
 ora a=kor oper ne yakka
 そして (私の) 妹 で も
 そして私の家にいた兄である人
 悪いやつは殺して
 しまったので
 それからは父、本当の父と
 一緒に暮らしました。
 このように苦勞ばかりをしたのだと
 思って
 それからは大切に
 おいしい食事、きれいな着物を着せて
 そうして初めて母も
 泣かずに食事するようになり
 いろいろなことをしました。
 妹にも

37 これは「父の兄」という言い方で、つまりは叔父のこと。別の言い方としてアチャポ acapo やケウストウ kewsutu とも言う。

38 何と言おうとしたのかよくわからないが、こう言おうとしたのだろうと推測した。

39 オペレ oper は年長者が女の子に対して「おじょうちゃん」という感じて親しみを込めて使う言葉。

アシリキラプテ ア プ セコロ イオマフ
 a=sirkirapte a p sekor iomap
 (私)苦勞させ た が と かわいがる

苦勞をさせたと思ってかわいがり

オラ ヤイカタ カ エネ アン ピリカ マタキ
 ora yaykata ka ene an pirka mataki
 そして 自分 も このように 良い 妹

私自身もこのような良い妹を

505 アコロ ペ ネ アン ペ オラ
 a=kor pe ne an pe ora
 (私)持つ もの で ある のに こんど

持っていたのに

エネ アン シリキラプ アキ ペ… アニ アン セコロ
 ene an sirkirap a=ki pe… an _hi an sekor
 こんな 苦勞 (私)する ある こと ある と

このように苦勞をさせたのだと

ヤイヌアン ワ アトウヤシカラフ ペ ネ クス
 yaynu=an wa a=tuyaskarap pe ne kusu
 思う(私) して(私)憐れむ もの だ から

思っ、かわいそうに思い

オラノ ポ ヘネ アピリカイミレ
 orano po hene a=pirkaimire
 それから なおさら (私)きれいに着飾らせる

なおさらきれいな着物を着せて

アピリカコロ
 a=pirkakor
 (私)大切に

大切にかわいがりました。

510 ネプ カ アカレ カ ソモ キ ノ
 nep ka a=kare ka sono ki no
 何 も (私)させ も しない で

何もさせずに

アケムヌ プ ネ クス
 a=kemnu p ne kusu
 (私)同情する もの だ から

かわいそうなので

ネノ アピリカコロ オカアン。
 neno a=pirkakor oka=an.
 同じように (私)大切に 暮らす(私)

大切にして暮らしました。

アオナハ ネ ヤッカ アマタキ ネ ヤッカ
 a=onaha ne yakka a=mataki ne yakka
 (私の)父 で も (私の)妹 で も

父にも妹にも

キ コロ オカアン。
 ki kor oka=an.
 し ながら 暮らす(私)

そうして暮らしました。

515 ラポッケ オラ
 rapokke ora
 そのうちに こんど

そのうちに

タネ マテトウン パハ パクノ アナン ペ ネ クス
 tane matetun paha pakno an=an pe ne kusu
 もう 妻をもらう 年 まで なる(私) もの だ から

私ももう妻を娶る年にまでなったので

マテトウンアン ワ
matetun=an wa
妻をもらう(私) して

妻をもらって

ピリカ メノコ トウラノ オカアン ワ
pirka menokoturano oka=an wa
美しい 女性 と一緒に 暮らす(私) して

美しい妻と暮らしました。

オラノ ポ ヘネ アウヌフ アシリキラプテ ア プ
orano po hene a=unuhu a=sirkirapte a p
それから なおさら (私の)母 (私)苦勞させ た が

母にも苦勞をさせた

520 セコロ ヤイヌアン ワ
sekor yaynu=an wa
と 思う(私) して

と違って

オラノ アウヌフ ネ ヤツカ
orano a=unuhu ne yakka
それから (私の)母 で も

母にも

マツ アコロ ヒ オロワノ アナクネ
mat a=kor hi orowano anakne
妻 (私)持つ とき それから は

妻をもらってからは

ネプ カ アカレ カ ソモ キ ノ
nep ka a=kare ka somo ki no
何 も (私)させ も しない で

何もさせないで

アヌヌケ コロ アナン。
a=nunuke kor an=an.
(私)大切にしながら 暮らす(私)

大切に暮らしました。

525 ラポッケ オラ ネア アマタキヒ カ
rapokke ora nea a=matakihi ka
そのうちに そして その (私の)妹 も

そのうちにあの娘にも

アトウヤシカラッ ペ ネ クス
a=tuyaskarap pe ne kusu
(私)同情する ものだから

心を配り

ピリカ オツカヨ アエトウン ヒネ
pirka okkayo a=etun hine
良い 男性 (私)添わせ て

良い旦那さんと結婚させて

アシソユンテ⁴⁰ ワ アピリカ… ノ オカアン。
a=sisoyunte wa a=pirka... no oka=an.
(私)自分の外にいさせ て (私)良く して 暮らす(私)

隣に所帯をかまえ、良い暮らしをしました。

ウコシネウパアン ウコシネウパ ネ ヤ
ukosinewpa=an ukosinewpa ne ya
互いに訪ね合う(私) 互いに訪ね合う で も

互いに訪ね合ったり

40 シソユンテ si-soy-un-te (自分・[の家]の外・にいる・させる)で「隣に住ませる」。

- 530 ネプ カ アカラ ヤツカ
nep ka a=kar yakka
何 か (私)し ても
何かをするのでも
- イペ ネ ヤツカ ネプ ネ ヤツカ
ipe ne yakka nep ne yakka
食事 で も 何 で も
食事をするのでも何でも
- ウコイヤンパ ネ ヤ イコイヤニ ネ ヤ キ コロ
ukoyyanpa ne ya i=koyyani ne ya ki kor
互いに分け合う で も (私)にくれる で も し ながら
分け合って
- オカアン アイネ
oka=an ayne
暮らす(私) したあげく
暮らしました。
- ポ カ アコロ ワ
po ka a=kor wa
子供 も (私)持っ て
子供もできて
- 535 アウヌフ イヨマプ カ キ ア コロカ
a=unuhu iyomap ka ki a korka
(私の)母 かわいがり も し た けれど
母はかわいがっていましたが
- シリキラッ ペ ネ クス
sirkirap pe ne kusu
苦勞をする もの だ から
苦勞をしたので
- トウナシノ イサム ア コロカ
tunasno isam a korka
早くに 死ん だ けれど
早くに死んでしまいました。
- オカケ タ ピリカノ
okake ta pirkano
その後 に よく
その後立派に
- アウヌフ ネ ヤツカ アオナハ ネ ヤツカ
a=unuhu ne yakka a=onaha ne yakka
(私の)母 で も (私の)母 で も
母も父も葬式を出し
- 540 アオカノミ コロ アコヌラツパ コロ アナン アイネ
a=okanomi kor a=konurappa kor an=an ayne
(私)供養し ながら (私)供養し ながら いる(私) やがて
先祖供養をしました。
- タネ ヤイカタ カ オンネアン ルウエ ネ コロカ
tane yaykata ka onne=an ruwe ne korka
もう 自分 も 年を取る(私) こと だ けれど
もう自分も年を取ってしまったけれど
- タップネ カネ ネ ワ
tapne kane ne wa
このようなわけ であっ て
このようなわけで
- アマタキヒ アシリキラプテ プ ネ アクス
a=matakihi a=sirkirapte p ne akusu
(私の)妹 (私)苦勞させる もの だっ たところ
妹に苦勞をさせたのだけれど

アポ ウタラ ネ ヤッカ ウコウエイサンペコロ サク ノ
 a=po utar ne yakka ukoweysampekor sak no 子供たちにも互いに悪い心を持つことなく
 (私の)子ら で も 互いに悪い心を持た ない で

545 アマタキヒ ポホ ウタツ トウラノ
 a=matakihi poho utar_ turano 妹の子供たちと
 (私の)妹 子供 たち と一緒に

ウコウエンケウトウムコロパ ソモ キ ノ
 ukowenkewtumkorpa somoki no 互いに悪い心を持つことがないように
 互いに悪い心を持た ない で

オカ ヤク ピリカ ナ セコロ
 oka yak pirka na sekor 暮らしなさいと
 暮らせ ば いい よ と

ピリカノ アカシパオツテ コロ
 pirkano a=kaspaotte kor 言い聞かせて
 よく (私)言い聞かせ ながら

イサマン ペ ネ アクス アイエ セコロ
 isam=an pe ne akusu a=ye sekor 死んで行くので話をしますと
 死ぬ(私) もの だっ たところ (私)言う と

550 シネ メノコ⁴¹ イソイタク
 sine menoko isoytak ひとりの女性が物語りました
 ある 女性 物語る

セコロ ネ。
 sekor ne. とさ。
 と いう

41 ニシパ nispa「旦那さん」というべきところだけれど、最後に来て妹の方に話者が代わったということか。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 2

上田トシの民話 2

発行日 2015年2月28日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

本書は平成26年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。